

【専門分野】

科目名	成人看護援助論Ⅲ (慢性期：自己管理支援、 長期療養者の看護)	講師名	専任教員 (8) 非常勤講師 (4) 非常勤講師 (6) 非常勤講師 (2) 岡山医療センター看護師 A (6) 岡山医療センター看護師 B (4)	学	1	履 修 期	第2学期				
単 位	1単位		年								
時間数	30時間										
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験あり。										
授業概要	ライフサイクルにおける成人期にある対象の特徴を理解し、健康段階に応じた看護の役割、機能、疾患や症状に応じた援助について学ぶ。										
授業科目目標	1. 慢性的な経過をたどる健康障害の患者の自己管理に向けての看護について理解できる。 2. 長期療養者のQOLの維持向上を支える看護について理解できる。 3. 患者に起こっている機能障害に伴う症状の看護、検査・治療の看護が理解できる。										
授業計画	<p>1～2回：慢性期にある患者・家族の特徴、慢性期看護の特徴</p> <p>1) 慢性疾患の特徴と変遷、経過プロセス (病みの軌跡の事例学習)</p> <p>2) 機能障害の理解に基づいたケアの工夫と応用</p> <p>(1) 生活と自己管理の調整・支援 (エンパワーメント)</p> <p>3) セルフケア支援体制の整備</p> <p>(1) 保健医療チームとの連携 (退院調整)</p> <p>(2) 社会資源の活用 (患者会の活用と支援、医療費助成制度)</p> <p>3～4回：慢性の内部環境調節機能障害のある患者の看護</p> <p>糖尿病患者の看護：症状に伴う看護、検査・治療を受ける患者の看護 (食事療法、薬物療法、運動療法)</p> <p>5回：血糖測定</p> <p>6回：甲状腺機能亢進症および低下症の患者の看護</p> <p>副腎疾患のある患者の看護、副腎機能低下症のある患者の看護</p> <p>7回：慢性腎不全患者の看護</p> <p>症状に伴う看護、検査・治療を受ける患者の看護 (HD、CAPD、腎生検検査時の看護、腎移植の看護)</p> <p>8回：膀胱癌、前立腺癌 (手術後の看護) の患者の看護症状に伴う看護、尿路ストーマを造設後の自己管理に向けた看護</p> <p>9～11回：神経・筋難病患者の看護</p> <p>1) 難病について</p> <p>2) 主な病状と看護の特徴</p> <p>3) 制約がある中での日常生活の援助</p> <p>4) 障害受容のプロセスに応じた援助</p> <p>5) 人工呼吸器装着の看護</p> <p>6) 社会資源の活用と患者教育 (役割理論の活用)</p> <p>12～13回：重症心身障害者 (児) の看護</p> <p>1) 重症心身障害者 (児) の治療、看護の意義</p> <p>2) QOLの充実に向けた日常生活の援助</p> <p>3) 関係部門・機関との連携のあり方</p> <p>4) 家族の抱える問題の理解と援助</p> <p>14回：結核感染患者の看護</p> <p>1) 結核医療の変化</p> <p>2) 薬物治療における援助</p> <p>3) 合併症予防、感染予防管理</p> <p>4) 日常生活指導</p> <p>15回：終了試験</p>					講義 グループ ワーク	講義	演習 講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験										
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [1] 成人看護学総論, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器, 医学書院. 3. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [6] 内分泌・代謝, 医学書院. 4. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [8] 腎・泌尿器, 医学書院. 5. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院. 6. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳・神経, 医学書院. 7. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] 呼吸器, 医学書院.										
参考書	1. 関口恵子：経過別看護過程の展開, 学研. 2. 市村久美子：看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 第4版, 学研. 3. 江草安彦監修：重症心身障害療育マニュアル第2版, 医歯薬出版株式会社. 4. 宮崎修次：重症心身障害者医療と支援, 金芳堂. 5. 人工呼吸器の使用法、人工呼吸器使用中の看護に関する文献 6. 井上智子：病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図, 医学書院. 7. 医療福祉総合ガイドブック 2018, 医学書院.										
学生へのメッセージ	対象、家族が家庭でも継続して自己管理をしていける方法を一緒に学んでいきましょう。また、成人看護学実習Ⅱ (障害とともに生きる人を支える看護)・成人・老年看護学実習Ⅰ (慢性期) において重症心身障害者 (児)、神経・筋難病患者の専門看護について学びます。実習と関連づけて学びが深められるようにしましょう。 【関連科目】解剖生理学Ⅰ～Ⅳ、病理学Ⅰ～Ⅳ、健康教育論、成人看護学概論										